



これは何でしょう



答えについては思い出などもお待ちしています。

- しめきり 9月15日決必着
 - あて先 〒783 南国市大塚甲2301 南国市企画課 親善スポーツ係
 - 賞品 正解者の中から抽選で5人の人に図書券を進呈
 - ◎第304回親子クイズの答えは、ツウチヒヨウでした。
- 第304回当選者発表(敬称略)
(応募総数21通)
- 浜口 瑞穂(十市)
 - 山田 博美(東崎)
 - 沢本 貴良(緑ヶ丘)
 - 柳瀬 章恵(久礼田)
 - 別役 奈保(緑ヶ丘)

☆☆☆
思い出がいっぱい

- ◆小学校・高校までの通知表に全部今でも家のどこかにしまっているはず。久しぶりに眺めてみたいなあ。(中石 忍)
- ◆昔はうれしかった通知表、中学校になった今は、見るのがこわいです。(別役 奈保)
- ◆問題は誰のを写したのかな？ちよつぱり気になるなあ！(沼田 健児)
- ◆小学校のときよく読んでた「よい」いくつかあったなと、競争しました。(松下 祐子)
- ◆私は子どもたちの通知表を年に三回見るのを楽しみにしていたが、今は大男が高校卒業してから六か月も過ぎて、今はなつかしく思います。(谷合 百世)
- ◆今はこんな通知表なんですか？これなら全部「はい」をとってもらいたいです。(高木 節子)
- ◆この成績表はなつかしいです。今は子どもも大きくなって五段階の成績表です。(高木美和子)



みんなの

広場



岩沼市・尾花沢市・南国市
親善スポーツ交流

八月八日から十日の二泊三日の日程で、姉妹都市である宮城県岩沼市で、三市の少年野球の親善スポーツ交流が行われました。

南国市の親善団一行は、昨年度、岩沼市の少年野球親善団が本市に訪問したのを受け、両市長を団長に、市内の七チーム(稲生タイガース・大嶽スポーツ少年団・三和ブラザーズ・大湊オーシャン・十市ファイターズ・後免オリオンズ・日章スカイブルー)から五・六年生を中心に選手三十八人、指導者など総勢七十三人で、岩沼市を訪問しました。

今回の親善スポーツ交流では、岩沼市の友好都市である山形県尾花沢市の親善スポーツ団の参加もあり、本市にとっても新たな社会



の場となりました。試合当日は、岩沼市で今夏一番の暑さという三十四・五度という猛暑の中、南国市混合三チームを編成し、五試合を行いました。結果は並戦で勝利を収めたり、惜しくも敗れた試合もありましたが、力いっぱいプレーしました。

また、二日間の子どもの宿泊は、岩沼市の選手団の各家庭などに分散してお世話になりましたので、試合のみならず、寝食ともにした楽しい交流を行うことができました。

▲岩沼市のホストファミリーと対面。三日間、よろしくお楽しみます。

▲もっと声を出して！



古装束で平安絵巻を再現する
第2回土佐日記つらゆき時代まつり



- 【貫之行列】参加のボランティア募集
- 開催日時 平成9年11月16日(日)
第1部/9:30~12:00
第2部/14:00~15:00
 - コース 第1部/国府 大湊
第2部/市中心商店街周辺
 - 年齢 18歳以上の心身健康な人
 - 募集人員 男性42人・女性38人
(企業・職種単位での参加も可)
 - 役柄 紀貫之・小野小町のおともとしての重臣や女官など
 - 報酬 無償
(当日の食事は準備します)
 - 募集締め切り 9月15日(金)まで
 - 申し込み方法 ハガキに氏名・住所・電話番号・年齢を記入して、下記まで
 - 申し込み先・問い合わせ 南国市商工会第2回土佐日記つらゆき時代まつり事務局まで
(〒783 南国市大塚甲1623-5 ☎3073)

俳句

一村の一人に風のこいのぼり
西野田町 橋本 純子

鏡割と死ぬまでつき合ひ半夏生
河原町 山中 幸居

夕虹を覗いたかたに靴を脱ぎ
後免町 中村 竹子

夏寺やお遍路会話伊予の人
植野 原 忠男

短歌

川柳

天下古代ロマンを偲びつ、
移植ブテ持つ手に汗光る
田村 佐竹 花美

立秋の立居かすかにみえつらむ
朝の合歡に蜻蛉相けたり
三島 有元 一馬

寄せ書き思い出出だげ終戦忌
十市 尺村 義一

良きなきけはピンす身にはもどりくる
十市 大家寿恵子